

宝珠山 如意寺だより



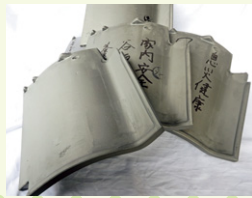
新春号



(平成28年1月1日発行)

仁王門屋根瓦葺き替えのための御寄進のお願い

如意寺仁王門(山門)は江戸時代後期の建築で、二度の大修理を行っています。前回の瓦の葺き替え時期は不明ですが、老朽化が進み、危険な状態になっています。御寄進いただきましたご芳名は棟札と共に永代奉安させていただきます。指定文化財でもある金剛力士(仁王さん)をお祀りする建物として、一人でも多くの方々に仁王さんとのご縁を結んで頂きますようお願い申し上げます。



一口 一千元
郵便振替 00900-5-52927
か、封書、或は受所をお願いいたします。(ご住所、ご芳名、ご祈願名とともに)

あけましておめでとございませす

正月は「修正する月」の略です。大晦日には、一年間に溜まった歪みを修正し、元の安定した状態にリセットしなければなりません。大晦日に除夜の鐘(梵鐘)をつくのも、煩惱を祓い初心にかえるためです。梵鐘の音はこの世界に響き渡る仏の声でもあります。

新年を迎える時には、できるだけ真っ白な心になっていたいものです。何事も素直に受け入れて新たな一年を築き上げていこうという前向きな気持ちがよいですね。煩惱や迷いを除去したきれいな心の上に、樹木のように大きな年輪が、年々歳々、積み重なっていきます。これが日々生きている喜び、人生を生き抜く値打ちではないでしょうか。煩惱や迷いはなかなかなくなりませんが、その気持ちがあれば必ずやおかげとなつて顕われます。お正月から一年を通して行う家内安全、厄災消除、心願成就などのご祈願もこのような気持ちで厳修いたします。本年がよりよい年となりますよう祈念申し上げます。



ミツバツツジ
4月5～25日
(ピークは中旬)
年間300種の山野草をお楽しみ下さい。



ヤマリンドウ



ツリフネソウ



ユウスゲ



アジサイ

- 四季の花**
- 3月末 …… イカリソウ
 - 4月 …… ミツバツツジ・石南花
 - 5月 …… ヒラドツツジ・山法師
 - 6月 …… 沙羅・アジサイ
 - 7～8月 …… アジサイ・サルスベリ
 - 9月 …… 萩・ツリフネソウ
 - 10月 …… 大文字草・ホトトギス
 - 11月 …… 秋明菊・山リンドウ

特別祈禱～ できればご予約下さい。

- ・毎日 … 9時～16時(時間外はお電話下さい)
- ・ご祈禱料 … 志納(5,000円程度)
- ・お渡しするもの … お札・お守・お供物など

男性 申年25歳、辰年41歳(前厄)、卯年42歳(厄)、寅年43歳(後厄)、申年61歳(還暦)

女性 寅年19歳、丑年32歳(前厄)、子年33歳(厄)、亥年34歳(後厄)、申年37歳、申年61歳(還暦)

護摩祈禱～

下記の「四大縁日」の願い事の書いた護摩木をお焚き上げて願いの成就を祈願します。



- ・祈願料 … 1,000～2,000円
- ・お札、お供物、(厄除箸など)

厄除の祈禱は、できれば春のうちにいきましょう

久美浜三大祭

春 久美浜雛祭(寺の近く)
久美浜の街なみや「豪商稲葉本家」に手づくり竹雛人形が飾られます。(1/16～4/3)「豪商稲葉本家(水曜休館)」では、江戸時代の御殿雛も飾られます。



夏 千日会(如意寺本尊会)

町を挙げての夏祭で、花火、6,500基の灯笼流し、大文字焼きが行われます。如意寺前から見ることができます。(8月9日写真右の項→)

秋 「神谷神社」の秋祭(寺の近く)

5基の太鼓台が練り歩く勇壮な祭です。(10月第二日曜)



如意寺四大縁日

正月 初詣 新春護摩祈願
縁起物授与 甘酒接待
節分祭 (2月3日)
厄除等護摩祈願・甘酒接待
日切不動大祭 (4月1日)
柴灯大護摩・花説法・もちまき
千日会へ本尊云 (8月9日)
花火など法要・護摩

～笑う門には福来る～

年の初めですから、気分がよくなるお話をしたいと思います。読むとしばらくは気分が悪くなるかもしれませんが、その後、また気分がよくなることを祈って(笑)……。

いつもにこやかな人と気難しい人とどちらがいいでしょう。みなさんの答えはたぶん一致しているかと思いますが。しかし、気難しい人にもそれなりの理由があるかもしれません。ご本人にも、「私はプライドがあるので、他人と同じようにニコニコしているわけにはいかない。」という思いや、「暗い顔をしていたら、だれかが同情してくれる。」というひそかな期待があるかもしれません。でも、どちらも生まれつきの気性かもしれないし、日々の生活の中で形成された性格の違いかもしれません。さあどうしましょうか。



フランスの思想家アランは言います。「悲観主義は気分で楽観主義は意志である。成り行きにまかせていると人間はみなふさぎこむ。それどころか、やがていらだち怒りだす。本来、上機嫌などは存在しないのだ。気分はいつでも悪いものであり、あらゆる幸福は意志と抑制とによるものである。」すなわち、いつもにこやかに明るい人は、上機嫌になるように相当努力しておられることになりますね。決して能天気なんかではなくて。でも病気になれば気が減入ります。そこで、アランはまた言います。「病気になれば気が減入ることはわかっているのだから、気が減入ることに驚いたり、不機嫌になったりしてはいけない。」さらに、「幸福になるには、現在のことで過去のことでも、自分の不幸について決して他人に話さないということだ。」(そういえば、きんさん&ぎんさんは、いつも今に生きておられて明るかったですね。でもどうしても話したいときは話してください。お聞きします。)



彼は大変難しいことを言っているようですが、仏教でも同様の考え方があります。前々号で、「すでに救われている」というお話をさせていただきました。自分が、瘦せても枯れてもこの体を与えられて、今、この世に生かされていることに気づき感謝するところから、幸福感は生まれます。古代の賢者が、難破から逃れて、すっぱだかで陸に上がり、「私は自分の全財産を身につけている」と言ったように。自分を認め、今を肯定するこの捨て身の自信がすばらしいですね。生きていれば、意志さえあれば、いくらでも再出発できるという宣言。上機嫌の極みです。

私どもは、夏は暑い、冬は寒いと愚痴をこぼしますが(私もそうです)、夏は暑く冬は寒いのは当たり前です。西洋では、寒さに抵抗するには一つしかない。寒さに満足することだ。私が満足しているのは暖まったからではない。満足しているから暖まるのだ、という考え方があります。仏教では「熱時熱殺 寒時寒殺」と言います。寒い時には寒さの真ん中に飛び込んで対象と一体となれば、もう寒さはないということです。そういえば、冬、一番寒いはずのスキー場で寒がっている人はあまり見かけません。部屋の中でも寒いのに……。

締め切った部屋の空気、溜めたままの器の水はよどみます。動きの悪いニューロンも酸化して劣化するのではないのでしょうか。気分が落ち込んだり、一人である時間が長い場合は、思い切って外に出たり、人と会ったり、ドライブしたり、気分をリニューアルしましょう。そして、声を上げて笑えるような状態に“自分自身”を案内してやりましょう。

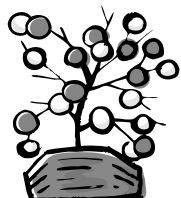
些細なことではありますが、今年目標にしませんか。「笑う門には福来る。」

ありふれていますが、なかなか手ごわい相手かもしれません。

気楽に、じっくりやりましょう。笑いながらやらないといけませんから。(笑)

苦労は多いですが、“今日一日しかない今日の日”を、前向きに過ごしたいものです。

※ 門(かど)とは、「家、家庭」の意味ですが、「人、人生」に置き換えてもいいですね。



ことは

- ◆ 明日を生きる力は、今日養われる。
- ◆ 「人は軽ろきがよき」(徒然草) …上機嫌のことでしょうか
- ◆ 食べ過ぎに注意しよう。命に響く。(笑)